

## サハリーンスカヤ通り

サハリーンスカヤ通りは街の一番古い道の一つです。この長さは4キロぐらいです。街はこの道から始まりました。発掘のデータによると、120年前この道には丸太の小屋があったそうです。前にあった村の所でこの道はスズヤ川で交差されています。スズヤ川はシーニャヤ川とベーラヤ川の併合から始まります。現代この場所には40トンの記念石が置かれています。樺太時代この道は間丘通りと呼ばれていました。ホールムスク街（日本時代間丘街）へ向かっている道だという意味でした。

1947年にはパイオニア会館が会館されました。この会館の中には市立子供用の図書室と子供用の音楽学校がありました。あの時読者の人数は800人であり、本のファン্ডは8000冊でした。パイオニア会館はサハリーンスカヤ通りでは1967年までに存在して、その後コムニスチーチェスキー大通りに立てられた新しい建物に引越しました。

市立子供図書館も1965年にサハリーンスカヤ通り34番の4階建ての住宅の一階へ引越しました。現代もこの建物に位置しています。現代、読者の人数は4000人以上であり、本のファン্ডは38000冊まで増えてきました。毎年、図書館はあらゆる年齢層の人々のために300以上の公共のイベントを開催しています。

1960年代には、サハリーンスカヤ通りにはかなりの数の産業施設、社交施設、文化施設が現れてきました。それはコムソモーレツ映画館、サハリンデパート、マルイーシデパート、本屋、フィルハーモニー、サハリン喫茶店などです。

1973年に、快適な部屋があるツーリストホテルが開店されました。

1982年街の100年記念日に、ロシアの有名な旅行者であったクルゼンシテールン、ネヴェリスコーイ、ゴロブニンのバストが置かれ、何箇所の新しい四角いが設定されました。その旅行者の名前はサハリン島とクリール列島の発見歴史には直接な関係がありました。偉大なロシアのナビゲーターの胸像はソ連の有名なムラヂャーン彫刻家によってミンスク工場で作られました。都市を植えることの練習の中で初めて、マオカ鳥チェリー、アメリカサンザシ、ウスリー梨の木と他の珍しい木がこれらの広場に植えられました。広場は約3万の花で装飾されました。

1994年にサハリーンスカヤ通りでは新しい市場が開店され、ヴォストクという名前が付けられました。

2000年5月14日にボーリングスポーツセンターが会館されました。韓国輸入された設備が設定されていました。子供用の遊び場もありました。

近い将来にはサハリーンスカヤ通りで新しい面白い何かが出来るとは思いませんか。もちろんです。この通りは大きな将来があります。現代この道では多くの施設は建設中です。サハリーンスカヤ通りとミーラ大通りの交差点ではサハリン1プロジェクトのオペレーターであるエックソン社は街の飾りになりそうな会社事務所の建物を建設する予定があります。

サハリーンスカヤ通りとコムソモーリスカヤ通りのカグではウォーターパークを建てる予定されています。私たちの街のユニークな通りは毎年きれいになっています。